

RYOBI

スチールバンドソー

S B-185・S B-185-II (平バイス)

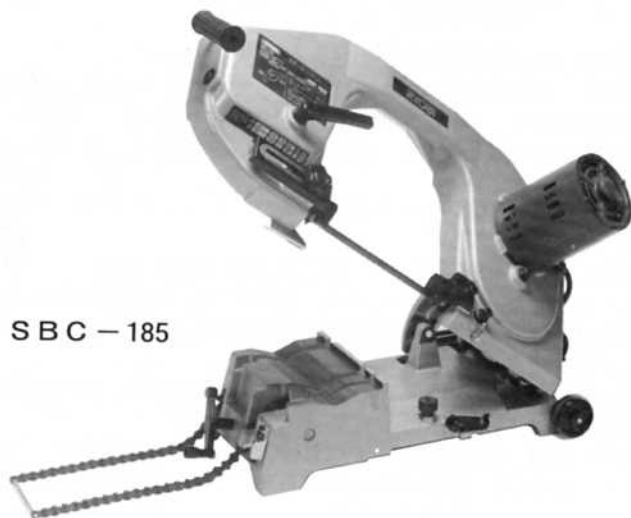
S B C-185・S B C-185-II (チェーンバイス)

取扱説明書

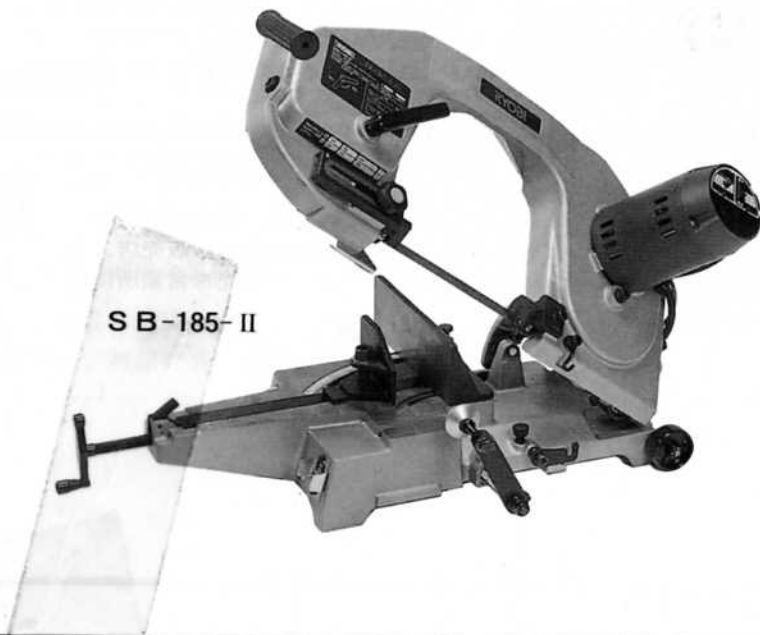
ご使用前に本取扱説明書をよくご覧の上ご使用くださるようお願いいたします。

6982602

S B C - 185



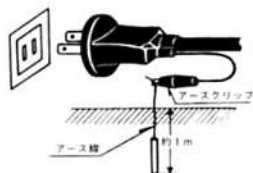
S B-185-II



●ご使用に当たりましての注意事項

本機を使用する前には必ず取扱説明書を十分読み、指定された以外の用途にはお使いにならないで下さい。

- 電源に接続する前に、刃物が使用説明に従って正しく確実に、取付けられているか確認してください。
- 電圧は銘板の表示と一致しているか必ず確認してください。100V用のモーターを200Vで使用されますと、モーター焼損の原因となります。逆に低い電圧で使用しますと力不足となります。
- 製品は大事に取扱ってください。誤って落としたり、ぶついたりした場合は異状の有無を確認した後、ご使用ください。
- 運転中は鋸刃および可動部には絶対に手を触れないでください。大変危険です。
- 能力を超えた作業は事故のもとです。刃物は常に良い切れ味にしておき、回転数を上げた後加工を始めてください。安全で能率良く、きれいな仕上げ面が得られます。
- 湿った場所、濡れた場所での使用は避けてください。感電事故のもとになり、モーター絶縁を低下させます。
- 安全な作業をするためには作業場はいつもきれいに整理し、十分な照明が必要です。ちらかした作業場は事故のもとです。
- 作業場所には作業関係者以外は近づけないでください。特にお子様は危険です。
- 作業時の服装は身軽なもので行なってください。ネクタイ、袖口の開いた服装は機械の可動部に巻き込まれる恐れがあります。屋外の作業はゴム底の運動靴など、滑りにくく、動きやすい、絶縁できるものをご使用ください。
- 本機及び帯鋸刃はお子様の手が届かないところに保管し、湿度の高いところ、雨のかかるところ、直射日光の当たるところは避けてください。
- 調整用スパナ、レンチ、ドライバー類は、使用後はすぐに外すようにしてください。スイッチを入れる前には調整用スパナ、レンチ、ドライバー類が外してあるかよく確認してください。
- さし込みプラグを電源にさし込む前にスイッチが切れていることを確認し、使用后、および停電の際にはさし込みプラグを抜くように心掛けてください。
- 整備点検、部品交換の際は必ずスイッチが切れていることを確認し、さし込みプラグを電源より外してください。
- 運転中機械の調子が悪かったり、異状に気付いたときには直ちに使用を中止してください。
- 感電事故を防止する為、ご使用に先だちコード端にあるアースクリップを接地して下さい。
- 安全で能率よく作業をしていただくためには、作業前の機械の点検と、定期点検が必要です。点検はお買い求めの販売店、全国各地のリョービ電動工具販売店、リョービ販売網営業所にお問い合わせください。



●特 長

- キャリングハンドル、キャスターと、コンパクトな設計で本体の移動が楽に行なえます。
- セラミックガイドは摩耗しにくく、長期間にわたって高精度な切断が行なえます。
- 切断が終了すると自動的にスイッチの切れる自動停止スイッチ付で効率よく作業ができます。
- 切断条件に合わせて、切断荷重を3段階に切換えられる切断荷重調整機構付です。
- クリックバイス、定寸ストッパーの採用により、作業性は抜群です。(SB 185, SB 185 II)
- 0~45°の範囲の角度切断ができます。又、0°、30°、45°はストッパーにより簡単に角度調整ができます。(SB 185, SB 185 II)
- チェーンバイス方式なので、どんな形状の材料でも固定が確実にでき、また小径材の鉄筋などは数本束ねて切断できます。(SBC 185, SBC 185 II)
- 電子制御2スピード変速機構により、ステンレス材でも精度の良い切断が可能です。
(SB-185 II、SBC-185 II)

●仕 様

モ デ ル		SB 185	SB 185 II	SBC 185	SBC 185 II
電 源		単相・交流・100V 50/60Hz			
定 格 出 力		250W			
消 費 電 力		320W			
帯 鋸 刃 (高速50/60Hz)		37/45m/分	37/45m/分	37/45m/分	37/45m/分
周 速 (低 速)		—	27m/分	—	27m/分
帯鋸寸法(長さ×幅×厚み)		1645×13×0.65mm			
切 断 能 力		(90°) φ185mm, □150mm (45°) φ90mm, □75mm		φ185mm, □150mm	
バ イ ス 方 式		平バイス		チェーンバイス	
機体寸法幅	長 さ	869mm			
	幅	394mm	402mm	313mm	339mm
	高 さ	442mm	468mm	442mm	468mm
本 体 重 量		46kg	48kg	43kg	45kg

●用 途

- 鋼管、ライニング管、棒鋼、形鋼等各種鋼材の切断
- ステンレス材の切断
- アルミサッシ、真鍮などの非鉄金属材料の切断
- 各種樹脂材料の切断 (熱軟化性の樹脂は切削熱により樹脂がとけ、帯鋸刃が食い込むため切断できません。)

●通常付属品

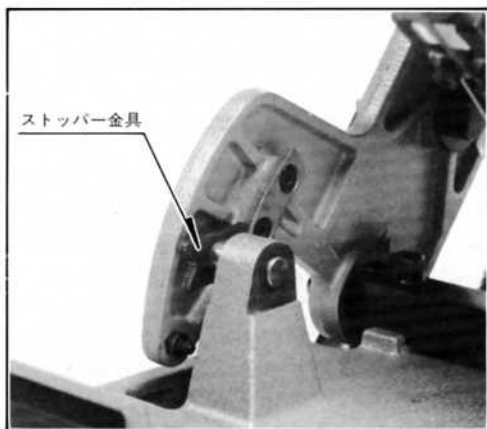
- 帯鋸刃(ハイス) 14in/インチ
- ボックスパナ (SB 185, SB 185 II)
- ※ボックスパナはベースに収納してあります。

●特別付属品(別販売)

- 帯鋸刃
(合金刃) 8山, 14山, 18山, 24山/インチ
(ハイス刃) 8山, 14山, 18山/インチ
(グリッドソー)

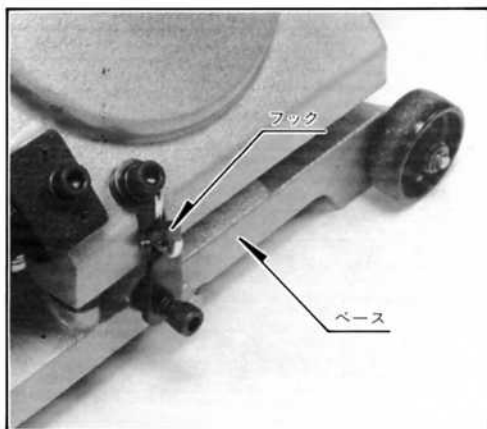
● 本体ストッパー

- フレームが下がっている状態から、フレームを最上部まで持ち上げることで、フレームは上がった状態でロックされます。
- また、その状態から再度フレームを最上部まで持ち上げるとロックは解除され、下に降ろす事ができます。
- 材料のセット、帯鋸刃の交換、各部の調整などの時、上部で固定すると便利です。



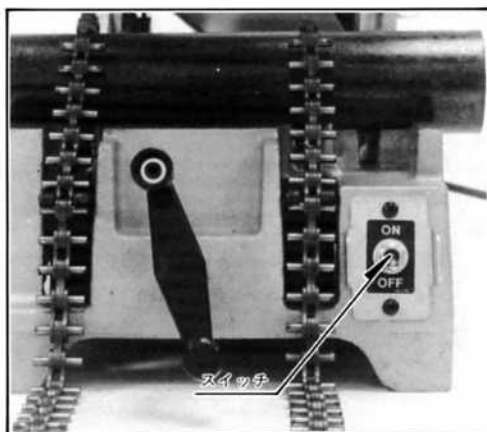
● 移動と作業場所について

- 本機移動の時には、ベース部のフックを掛けてください。使用する時は、フックをベースのストッパー部に当たるまで確実に倒してご使用ください。切断する時にはフックを外側に引きながら回せば簡単にはずせます。
- 作業は傾斜のない平坦な場所で行なってください。



● スイッチ

- スイッチは上(ON)側にすると入り、下(OFF)側で切れます。本機は自動停止スイッチ付です。切断が終了しますと自動的にスイッチはOFFになります。

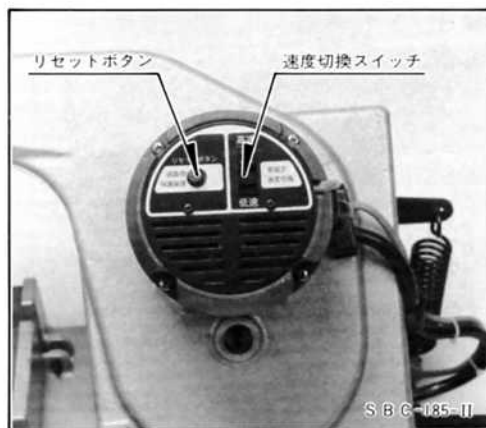


● 帯鋸刃周速度の切換え

(S B-185-II、S B C-185-II)

- モーターケースの後カバー部に变速スイッチがあります。作業用途に合わせて高速(37/45m/min. : 50/60Hz)、低速(27m/min.)に切換えてください。

※低速は、ステンレス材の切断や、より加工精度の要求される切断作業にご使用ください。



● リセットボタン

- 本機は過負荷によるモーターの焼損、各部の損傷防止のために過負荷保護装置を内蔵しています。
- 過負荷保護装置が働き、モーターが停止したときには、スイッチを切り過負荷状態の原因を取り除いてから1～2分後にリセットボタンを押してください。リセットボタンはモーターケースの後カバー部にあります。



● チェーンバイス

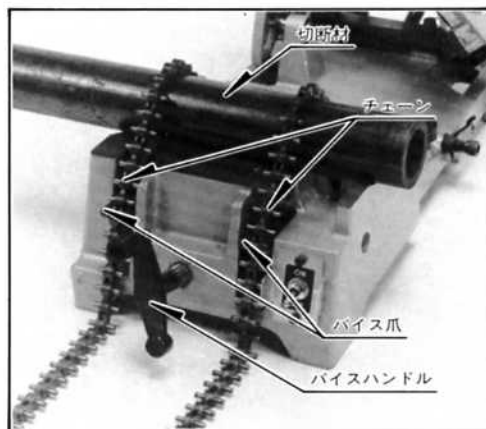
(S B C-185、S B C-185-II)

- チェーンバイスの操作は次の手順で行なってください。

- ① チェーンをバイスの前方にして、切断材をベースに乗せます。
- ② 切断材を押さえるようにして、チェーンをバイス爪に真直ぐに掛けます。
- ③ 帯鋸刃を基準に切断材の切断位置を合わせ、バイスハンドルで締付け、切断材を固定してください。

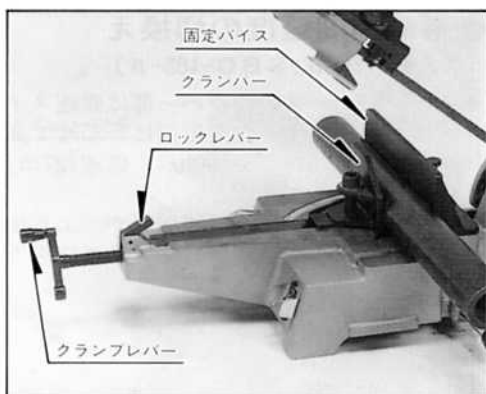
※バイス締付けの時、2本のチェーンが均等に張るように、またチェーンが曲がらないように注意してください。

※切断材の油、汚れはきれいに拭き取ってください。



●平バイス (SB-185、SB-185-II) (バイス)

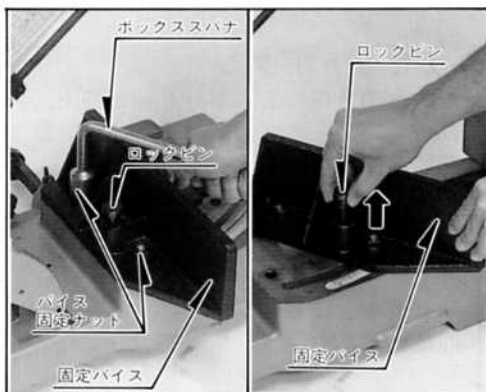
- ①ロックレバーを引き上げた状態でクランプレバーを引き、切断材はいる大きさまでバイスを広げます。
- ②切断材をベースに乗せます。
- ③クランプレバーが切断材に当たるまでクランプレバーを押し付けた後、クランプレバーを回して材料を完全に固定してください。



(角度切断)

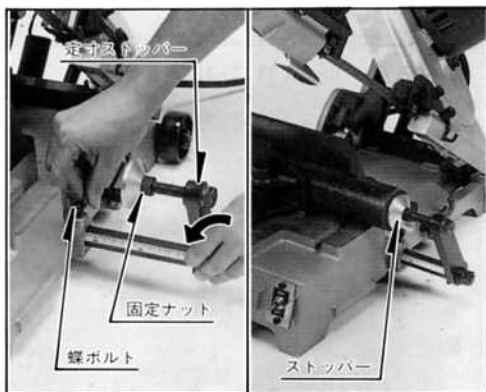
- 固定バイスを動かすことにより、0° (直角) ~ 45° の範囲で角度切断ができます。固定バイスは次の手順で角度調整を行います。

- ①バイス固定ナット (2ヶ所) を本体に装着されている付属のボックススパナでゆるめます。
 - ②ロックピンを引き上げ、バイスの角度調整を行ないます。
- ※0°、30°、45° 位置では、ロックピンを押し上げ、ベースの穴にさし込むことにより、簡単に角度調整ができます。
- ③角度調整後は、必ずバイス固定ナットを、しっかり締付けてください。



(定寸ストッパー)

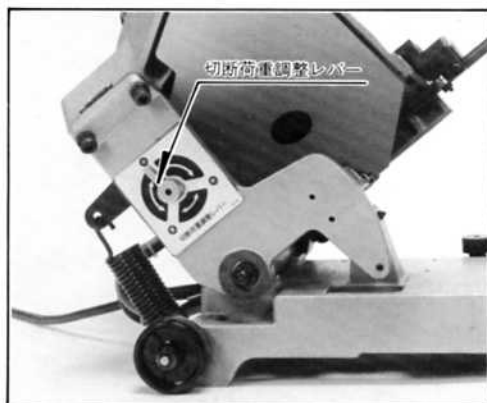
- 定寸切断を行なう場合、通常付属品の定寸ストッパーを本体に取り付けてご使用下さい。定寸ストッパーはベースに目盛がスイッチ側に向くようにさし込みます。
- ①定寸ストッパーを矢印方向に起こします。
 - ②蝶ボルトをゆるめ、定寸ストッパーを必要な寸法まで引き出し蝶ボルトで固定します。
 - ③材料を定寸ストッパーに当るようにセットし、バイスで固定します。
 - ④定寸ストッパーを矢印と反対方向に倒した後、切断を始めてください。
 - ⑤切断後定寸ストッパーを起こし、バイスをゆるめ材料を移動させて同様に切断していきます。



※定寸ストッパー目盛と実際の切断長さの微調整は、定寸ストッパーの固定ナットをゆるめ、ストッパーを回して行ないます。調整後は、固定ナットを締付け、ストッパーが回らないようにして下さい。

●帯鋸刃の選定と切断荷重

- 切断材、切断条件に合わせ別表1を基準として、帯鋸刃の選定、切断荷重の切換え、帯鋸刃の高・低速の切換え(SB-185-II、SBC-185-II)をしてください。
- 切断荷重の切換えは、ヒンジ部横の切断荷重調整レバーで[重][中][軽]の3段階に切換えられます。



別表 1

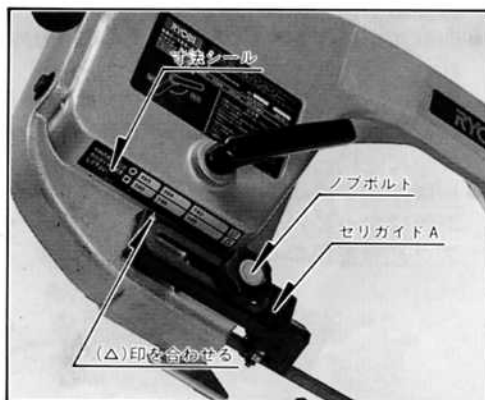
材料 帯ノコ	ライニング管 ガス管			電線管		形鋼・鋼管 肉厚(mm)					丸棒 材料径(mm)			ステンレス材 肉厚(mm)					塩 ビ 管	鋳 鉄 管	石綿 ビ ニール 管
	1½" 以下	2" 〜 4"	5" 〜 6"	薄 肉	厚 肉	2.9 以下	3.0 〜 5.9	6.0 〜 8.9	9.0 〜 11	12 以上	10 以下	10 〜 29	30 以上	1.4 以下	1.5 〜 2.9	3.0 〜 5.9	6.0 〜 11	12 以上			
合金	8山								中	重		中	重							中	
	14山	軽	中	重		軽		中	重	重		中	中							軽	重
	18山	中				中		中												軽	
	24山				軽	中	軽								軽						
ハイス	8山								中	重		中	重				中	重		中	
	14山	軽	中	重		軽		中	重	重		中	中			中	重		軽	重	
	18山	中				中		中							中				軽		
グリッドソー																					重

※ステンレス材や加工精度を要求される切断作業は低速で行って下さい。

(SB-185-II、SBC-185-II)

●セリガイドの調整

- 切断材の大きさに合わせてセリガイドAを調整してください。
- セリガイドAはノブボルトをゆるめ前後させます。
- セリガイドの位置決めは、本体の寸法シールの寸法を参考にセリガイドAの(△印)のマークを合わせてください。



●切断方法

- (1)ハンドルを持ってフレームを最上部まで上げ、上部でロックします。
- (2)切断材をバイスで固定します。
- (3)スイッチを入れ、ハンドルを持って本体を最上部まで上げ、ロックを解除します。



- (4)切断材の上に帯鋸刃に衝撃がかからないように注意しながら本体をゆっくりおろします。
- (5)自動的に切断し、切断終了後スイッチが切れます。
- (6)切断終了後本体を最上部まで上げ、上部でロックします。
- (7)バイスをゆるめ、切断した材料を取り出してください。

(注意)

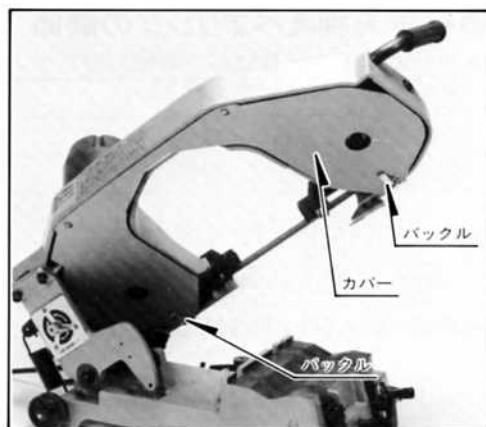
- 切断材に適した帯鋸刃をご使用ください。(帯鋸刃の選定と切断荷重の項参照)
- 切断材に帯鋸刃を急激に落とさないでください。帯鋸刃損傷の原因となります。
- 切断中ハンドルを押しやるなどの無理な荷重をかけないでください。帯鋸刃や機械各部損傷の原因となります。
- 切削油を使用しないで下さい。帯鋸刃外れの原因となります。
- 新しい帯鋸刃をご使用になる場合、[軽]荷重にして1・2回ならし切断を行なってください。
- 切断作業が終了しましたら必ずスイッチがOFFになっていることを確認し、差し込みプラグを電源から抜いてください。



● 帯鋸刃の交換

(帯鋸刃の取外し)

- ハンドルを持ってフレームを最上部まで上げ、上部でロックします。
- カバー下側の2カ所のバックルを外し、カバーを上方に持ち上げるようにして、カバーを外します。

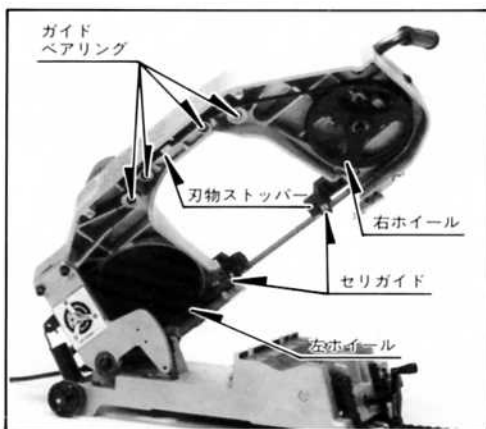


- テンションレバーを左(緩む)側に回して帯鋸刃をゆるめます。
- 帯鋸刃を外します。



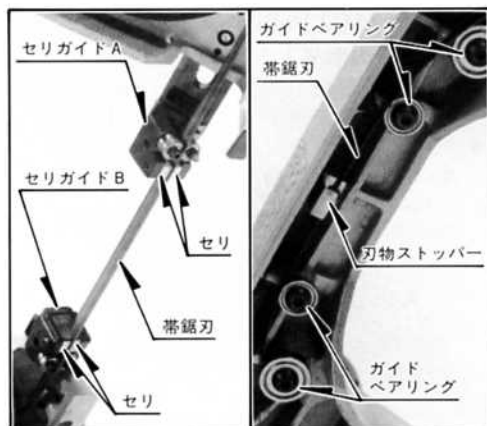
(帯鋸刃の取付け)

- 帯鋸刃を取付ける時は、次の順にセットします。
- ① セリガイドA・Bに帯鋸刃を入れます。
 - ② セリガイドから帯鋸刃が外れないように注意しながら、上部の刃物ストッパーの内側に帯鋸刃をセットします。
 - ③ 左ホイール、左ガイドベアリング、右ガイドベアリング、右ホイールの順に帯鋸刃をセットします。
 - ④ テンションレバーを右(張る)側に回して帯鋸刃を張ります。
- 帯鋸刃を張った後、帯鋸刃がスムーズに回るようになるまでホイールを手で回してください。
 - 帯鋸刃の張りは、テンション部スプリングにより自動調節されます。テンションレバーを無理に回さないでください。
- ⑤ カバーを取付けバックルで固定します。
- ※ 帯鋸刃に油、汚れがある場合はきれいに拭き取ってから取り付けてください。



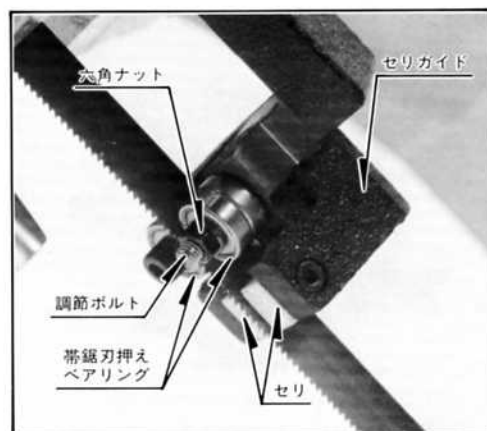
● 帯鋸刃押えベアリングの調節

- セリガイドA・Bにある帯鋸刃押えベアリングを、調節してください。



- 調節は2列のベアリングの外側の方で行ないます。六角ナットをゆるめ、調節ボルトを(-)ドライバーで少しずつ回してください。
- ベアリングの間隔は、帯鋸刃をホイールに掛けずにベアリングの間に挿入した状態で、ベアリングが帯鋸刃に軽くふれる程度としてください。
- 調節後、調節ボルトが回らないように注意しながら六角ナットを締め付けてください。

※ご使用前、帯鋸刃を交換されたときには、必ず帯鋸刃押えベアリングが正しく調節されているか確認してください。



●保守と点検

●ご使用中に機械、切断状態などで異状を感じましたら下記を参考に点検してください。

状態	原因	対策
切断精度が悪い	切断材に適した帯鋸刃を使用していない	帯鋸刃の選定と切断荷重の項参照
	切断荷重が適切でない	
	帯鋸刃の切れ味が悪くなっている	新しい帯鋸刃と交換する
	帯鋸刃が衝撃により変形している	
	セリガイドの間隔が広すぎる	セリガイドの調整の項参照
	帯鋸刃押えベアリングに摩耗、調整不良がある	帯鋸刃押えベアリングの調整の項参照
	切断中に切断材が動いた	切断材を確実にセットし直す
スイッチをいれても回転しない	差し込みプラグが電源に接続されていない	電源に接続する
	過負荷保護装置が働いている	リセットボタンを押す
帯鋸刃が外れる	帯鋸刃の取付が不備	帯鋸刃の交換の項参照
	帯鋸刃、プーリーに油、汚れがある	帯鋸刃、プーリーの油、汚れを拭き取る
	切断材に油がついている	切断材の油を拭き取る
切断時間が長い	切断荷重が適正でない	帯鋸刃の選定と切断荷重の項参照
	切断材に適した帯鋸刃を使用していない	
	帯鋸刃の切れ味が悪くなっている	新しい帯鋸刃と交換する
刃先が欠ける	切断中に材料が動いた	切断材を確実にセットし直す
	切り始めに急激に帯鋸刃を切断材に当てた	帯鋸刃をゆっくり当てる
	切断材に適した帯鋸刃を使用していない	帯鋸刃の選定と切断荷重の項参照
使用中何度も過負荷保護装置が働く	切断材に適した帯鋸刃を使用していない	帯鋸刃の選定と切断荷重の項参照
	切断荷重が適正でない	
	その他、モーター、電気系統の故障	販売店に修理を依頼する

●ご使用后本体各部を清掃した後、下記のような場所を避け安全な場所に保管してください。
(機械の保管に不適当な場所)

1. お子様の手の届く場所、管理者以外が簡単に持ち出せる場所。
2. 雨に濡れたり、直射日光の当たる場所。
3. 高温、多湿になり易い場所。
4. ゴミ、ホコリ等の多い場所。

●ときどきホイールの切削屑を乾いた布やブラシなどできれいに取り除いてください。

この製品は、一貫した品質管理のもとに組立てられ、
厳密な検査に合格した製品です。万一の故障の場合、
その他取扱上ご不明な点があった場合には、ご遠慮
なくお買上げ店、最寄りのリョービ電動工具販売店、
もしくはリョービ販売(株)営業所にお問い合わせ下さい。

改良のため製品仕様が変わる事があります。

発売元



リョービ販売 株式会社



リョービ 株式会社